

さくら湖管理ニュース

No.14
7月
2002年
発行
国土交通省 東北地方整備局
三春ダム管理所

きれいな湖“さくら湖”をゼッケン背負ってアピール

菅野さん（管理係）一般女子5km部門 6位入賞

平成14年6月9日（日）、県内外から集まった780人の参加者による、第5回さくら湖マラソン大会が開催されました。

管理所からは、高橋管理係長率いる『チーム三春ダム』の8人が、一般5kmの部に挑戦しました。当日は天気にも恵まれ、さくら湖は多くの人で賑わいました。

豊いで「出ます！」とは言ったものの、5kmも走れるのだろうか・・・と不安でした。目標は完走だったのでまさかまさか入賞するとは自分でもビックリ&嬉しかったです。走ってよかった！けど、来年は出ませ〜ん！（菅野・写真右）



←背中のゼッケン

参加した皆さんに感想を聞いてみました

- ・ 気持ちよくなりました（高橋）
- ・ 参加された皆さんのスピードと体力に驚かされ、ついて行く事も出来ず、ゴールするだけで精一杯・・・。やっぱり生半可な気持ちで出場するものではないと、痛感しました（高原）
- ・ 15年ぶりに5kmも走りました。頭で描いていた走りのイメージが途中で消滅してくれなくなってしまいました。次回は最後まで休まず働くように脚に良く言い聞かせてから走ります（西岡木）
- ・ とてもつらかった（矢倉）
- ・ 同い年の女性の方（菅野さん）に負けました。そんな自分が情けない・・・（大井）
- ・ 皆さんは、ペットボトル（900ml）の重さを感じたことがありますか？私はあります。5kmを走る時には何も持たないように注意しましょう。私の忠告を無視した人はきっと後悔するはずですよ（大内）
- ・ 無事に全員が完走できました。胸のNO. よりも背中のゼッケンが光っていた『チーム三春ダム』この精神をぜひ来年も！（高橋）

チーム三春ダムの皆さんお疲れさまでした。また来年も挑戦しましょう！

“さくら湖自然教室 2002”が今年も開催されます

さくら湖周辺の自然を体験し、水の大切さを考えよう

日時：平成14年7月28日（日） 雨天の場合は、8月4日（日）

場所：三春ダム（さくら湖周辺）

コース：①野鳥観察（野鳥の特徴や見分け方を勉強しよう）
②昆虫観察（昆虫の生態や見分け方を勉強しよう）
③水生生物（大滝根川にはどんな生物がいるのかな）
④水上探検（Eボートでさくら湖探検） の4コース
普段は見ることの出来ないダムの見学も出来るよ



三春ダム資料館入館者50万人達成!

6月19日(水)、三春ダム資料館に50万人目の入館者をお迎えしました。この7月で開館5周年を迎えるという節目の時期を目前にした4年11ヶ月目での50万人達成でした。

50万人目のお客様となったのは、三春町八島台の菊地絹子さん。ご家族と見学に来られていたところでした。

「久しぶりに三春ダムに来ました。
ビックリしました!」
と花束を受け取る菊地さんご家族→



三春ダムの伊藤管理所長、三春町の橋本助役ら関係者の出席による記念セレモニーでは50万人目の入館者を祝い、くす玉割りや記念品の贈呈が行われ、その後ハナミズキの記念植樹をしました。

(写真右)

資料館は、ダム完成に先だって平成9年7月に開館しました。ダムのことを楽しみながら学べる展示室や、展示ギャラリーをメインとし、ダム湖を臨む休憩コーナーなどを備えた施設です。



ダムを学び、理解し、楽しむ



ダムの仕組みも、動く模型で
分かりやすく紹介→

←パソコンを相手にクイズに挑戦!
東北のダムのデータも検索できます。



展示室 (資料館2階)



三春町の名所や施設を
大型モニターで紹介します→

←転がるボールで水の循環
の様子がわかります。



ダムを学び、理解し、楽しむ。三春ダム資料館は、そのお手伝いをする施設です。

◎ 入館は無料です

～大滝根川中流域（船引町）の歴史と文化～

第8回大滝根川流域勉強会が、6月21日（金）「大滝川中流域の歴史と文化」をテーマに船引町中央公民館において開催されました。

今回は、船引町教育委員会の逸見克己氏を講師に迎え、船引町内の遺跡についての説明と現地見学会が行われました。

船引町、常葉町、大越町の3町村には現在までで約420ヶ所の遺跡があり、年代については縄文時代が最も多く、次に中世時代のものが多いそうです。



船引町で発掘された土器の説明をする逸見氏↑

①前田遺跡（船引町北鹿又）

移川と大滝根川の分水界に位置し、移川側に存在する。

時代の異なる「環状列石」と「敷石住居跡」が発見され、福島県の文化財指定を受けており、国の指定へ移行することを検討されている。

縄文時代の土器として、鉢形土器と双孔土器が発見される。

お墓ではないか？といわれる環状列石→



1) 環状列石

環状列石は敷石住居跡より時代が古く、全国では釧路の忍路（オショロ）、秋田の大湯、青森にある。環状列石と断定されれば、日本最南端に位置する環状列石となる。縄文時代中期と後期の土器が混在しているが、なぜなのかは分かっていない。平成14年10月頃に再発掘の予定で、その時は見学も可能。

たばこ畑に囲まれた敷石住居跡→



2) 敷石住居跡

人が住んだ痕跡がないため祭りに使用した可能性があり、敷石の石は成形した石を大滝根川を利用して運んだ可能性もある。

②堀越のお人形様（明石神社）

4mもある魔除けの神様“お人形様”→

明石神社という名前は、約1,200年前に坂上田村麻呂が一晩巨石の下で明かしたことに由来する。

疫病防止を目的としてまつられるようになったそうで、現在のお人形様は平成4年に復活した。



次回の勉強会は、7月12日（金） テーマは「大滝根川流域の現況」についてです。

どなたでも参加できる勉強会です。申し込みは、自然観察ステーションまで（0247-61-1546）

ビオトープへのいざない

三春ダムでは蛇石川前貯水池左岸に、水辺にふさわしい景観を作り、四季折々の景色が楽しめる自然を間近に学べる場「蛇石ビオトープ」を整備しています。今はアジサイが見頃を迎え、皆様のおいでをお待ちいたしております。またこれからの季節、蓮が大輪の花をつける予定となっております。ぜひ一度ご来場下さい。



アジサイの原種『ガクアジサイ』↑

「ビオトープ」とは、ドイツ語で「bio＝生物＋top＝場所」という意味で、本来は生物の生息場所を示す。しかし最近では、ダムや湖など水辺環境の修復・復元として生物が生息できるように整備された場を「ビオトープ」と呼んでいます。

6月のダム見学者

- 6月 7日(金) 郡山市立守山小学校 54名
 6月 7日(金) 郡山市立朝日が丘小学校 100名
 6月 7日(金) 郡山市立安積第三小学校 95名
 6月 7日(金) 矢吹町立善郷小学校 74名
 6月11日(火) 三春町立中郷小学校 7名
 6月13日(木) 郡山北工業高等学校 84名
 6月13日(木) 三春町立御木沢小学校 21名
 6月13日(木) 郡山市立鬼生田小学校 14名(写真上↑)
 6月19日(水) 本宮町立五百川小学校 69名
 6月21日(金) 郡山市湖南行政センターの皆さん 30名



皆さん有難うございました！またお越しくださいね。

ダム資料館からのお知らせ



7/1(月)～7/31(水)まで、
「星の村・滝根町展」を開催中！
 リニューアルオープンした「あぶくま洞」など、
 みどころや特産品を紹介します。

←「あぶくま洞」は、8,000万年という歳月
 をかけて創られた鍾乳洞。

自然観察ステーションからのお知らせ

7/14(日) 昆虫標本の作り方教室
**「夏休み前に、昆虫採集や標本の
 の作り方を練習しよう」**



7/12(金)、20日(土)、26日(金)
 7月の星を見る会

夏の夕涼みはステーションの天文台へどうぞ

7/21(日) 自由研究相談会
**「こんなことやってみたいけど
 やり方が解らない」**



**夏休みの宿題に困ったら、
 三春の星正面、銀色のドームがめぐるしの
 自然観察ステーションに行ってみよう！**



美しい川の姿を守ります



編集後記

本文にあるように資料館の入館者が50万人に達しました。

イベントの運営を担当するのは初めてだったので、シナリオ通りになるかどうか心配でした。案の定、司会進行を無視して記念入館者に話しかける者あり(所長〜)。しかし、落ち着いた司会の進行により、流れを大きくはずれることなく何とかイベントも終了(ふ〜)というわけで今回の教訓「物事は予想通りなることは少ない、状況は常に化する。」さくら湖管理ニュースも変化を恐れず、紙面が硬直化することのないようにしていきたいものです。(佐々木)

編集・発行

国土交通省

東北地方整備局
 三春ダム管理所

〒963-7722

福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内
 403-4

TEL 0247-62-3145 FAX 0247-62-3170

ホームページ

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu>